



## 熱烈歓迎！上海徐匯区訪問団



7月6日(木)スエヒロで上海徐匯区より6名の訪問団を受け入れ歓迎会を催しました。

平成29年7月6日(木)に草津市は、友好都市上海市徐匯区からの友好使節団6名を受け入れました。

今回の訪問は、直前に日程が変更になる等のトラブルはありましたが、6日午後6時に使節団を近江スエヒロ本店にお迎えしました。

今回の訪問団は、方区長(100万都市徐匯区のトップ)を団長に6名の団員で構成されていました。

草津市側は山本副市長、中嶋市議会議員、川那邊教育長をはじめ8名の方が、KIFAよりは南会長、青地副会長、中西副会長を含め8名出席しました。

歓迎会では、山本副市長の歓迎の挨拶、KIFA南会長の歓迎の挨拶に続き、徐匯区方区長から、両市の友好関係が今後も末永く続くようにという挨拶がありました。

その後、草津市からの記念品が徐匯区に、KIFAからの記念品が団員各人に渡され、徐匯区よりも草津市とKIFAに記念品の贈呈がありました。

中嶋市議会議員の乾杯の挨拶のあと、楽しい歓迎夕食会が繰り上げられました。

前回(H26年)の訪問団受入時に通訳が少なく、会話が弾まなかった事を反省して、今回は4人席に1人の通訳(留学生在主体)を付けたことにより、各席での会話が弾みました。

今回は通訳の方の効果は大きく、あちこちで歓談の輪が広がりました。

川那邊教育長の閉宴の挨拶で歓迎夕食会は無事に終了し、次の機会での新たな交流を祈念しながら散会となりました。

交流を継続していく事の重要性を再認識しました。





## 橋川市長とKIFAとの懇話会

KIFA平成29年度総会（4月22日）を迎えるにあたり、KIFAの新規5年間のビジョンが策定された事と、今年度事業の概要がまとまった事を受けて、KIFA名誉会長の橋川草津市長にその内容を説明する懇話会を行いました。

懇話会にはKIFAから南会長、奥河副会長、中西副会長、青地理事が出席されました。

最初に南会長より新たに制定された「KIFAビジョン（2017～2021）」が説明されました。（KIFAビジョンに関しましては、紙面の都合上次号120号に掲載予定です）

次に今年度の大きな課題である、姉妹都市ポンティアック市からの中学生使節団（中学生10名と引率者10名）の来日（平成29年10月23日～11月2日）に対しての状況説明がなされ、市長も事業が順調に進むようにKIFAに対して行政への協力を依頼されました。

同時に6月に来日予定の友好都市上海徐匯区からの使節団への協力要請がありました。

次にKIFAが精力的に進めている多文化共生事業の内、3年目の継続事業となる文化庁助成事業「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の今年度の取組が説明され、市長は良い事業であるので最後まで確実にやり遂げるようにと激励していただきました。その中で、この事業を継続していくためには、文化庁からの助成が今年度で最後になるので、次年度以降の助成金の活用に関してまちづくり協働課と十分に相談して進めるようにとの言葉も頂きました。

その他、UDCBKとの協力に関する件、観音寺市との交流事業に関する件と、KIFAの次年度以降に係る内容もお話しできた有意義な懇話会でした。

（草津市国際交流協会事務局長 浦 幹夫）





# 留学生と一緒に行く バスツアー

夏編

独立行政法人日本学生支援機構より、助成を受けて行っている「留学生と一緒に行くバスツアー」も今年度で4年目を迎えました。今年は志向を変えた内容で行いました。

KIFAに参加するようになってから、一度相撲を見に行きたいなと思っていました。それを今回のバスツアーで実現させてもらったのですが、当日までうまく行くかドキドキして前日は眠れませんでした。

自分が何気なく言ったことが、バスツアーという大きなイベントになり、その責任感と、イベントを企画するというワクワク感とが入り混じり準備を進めていました。

先ず最初は見学場所へ赴き、色々と話をさせてもらいました。どの場所も見学を快諾頂き、特に相撲見学の日栄小学校では、特別に写真の時間を割いて頂いたりと本当によくして頂きました。

今回のツアーで苦労したのは、交流をどうやって深めるかでした。外でのゲームなど色々考えましたが、今回は参加者の名前を使ったピンゴにしました。少人数のツアーだったので、程良く交流のキッカケにもなり、良かったよ!と感想も頂いて、やった甲斐があったなと思いました。

このイベントを通して、沢山の方に力を貸して頂きました。周りの人の協力があってこそこのイベントだと痛感しました。このイベントに関わって下さった皆さんに心から感謝したいと思います。

(樋口 真由美)







# セタイイベント

7月8日(土)に、立命館大学BKCの学生団体TISAと共催でセタイイベントを行いました。

On 8th July 2017, I joined Tanabata festival at Ritsumeikan Biwako-Kusatsu Campus. I was so impressed with that event because I had a great opportunity to know more about Japanese culture, especially about Tanabata itself. Besides, all participants also got a good chance to wear Yukata. It was so fun and I really enjoyed the event. Thank you so much KIFA and TISA for conducting such an interesting event for us. ありがとうございます。

(インドネシア出身 立命館大学経済研究課 ベルナデタ・ミア)





# How to 防災

7月23日(日)、南消防署において、草津市とKIFA文化庁事業としての共催で多文化防災体験「How to 防災」が行なわれました。

6名の機能別消防団員と草津市の消防団の方、草津市防災応援隊(おにぎり委員会、災害ボランティアコーディネーター会、自主防災防犯研究会、防災博士など)、ダイバーシティ草津応援隊が参加し、お手伝いしてくれました。

今回は日本、ベトナム、中国、台湾や韓国出身の方が参加しました。

まず滋賀県地域防災アドバイザーの方が、やさしい日本語やイラストで書かれた『いのちをまもる』というテキストで、災害でのとっさの心構えについての説明がありました。その後、5つのグループに分かれてローテーションしながら、さまざまな体験をさせてもらいました。

ロープの結び方や発電機のかけ方を学びました。また消火訓練を消火器やホースを使って行い、煙のトンネルも体験しました。さらには新聞紙を使ってスリッパを作りました。これは、作れたら何かと重宝します。防災グッズを買うのももちろん必要ですが、今お家にあるものをいざという時に使えるように工夫するのも必要なんですね。



日本語が話せない方へ伝えるという難しさを痛感しつつ、中でも熱心に日本語を学ぼうと理解しようとしている姿勢に、日本人もまた、言葉の選び方を努力しなくてはいけないと感じました。日本人も多言語が出来なくても、やさしい日本語でわかりやすく伝えると通じることを学ぶよい機会になったことでしょう。機能別消防団員も母語や英語、日本語を使いながら一生懸命に活動していました。

このような体験を一緒にすることでお互いが顔みしりになり信頼関係ができていく。つながりを持つことが防災の基本であること。

まずは、身近なところから日ごろの付き合いと訓練の大切さを今後もっと広めていきたいものです。多文化共生社会へむけての防災分野での取り組みが新聞でも大きく取り上げられました。

災害弱者を減らし、きっとより住みやすい町になることでしょう!

(草津市国際交流協会 副会長 中西 まり子)

## ぶつぶつ交換会

7月22日(土)循環型社会創造研究所えこらとNPO法人くさつ未来プロジェクトが共催で、草津市立まちづくりセンターで初めての試みのぶつぶつ交換会を行いました。

7月22日(土)草津市立まちづくりセンターで循環型社会創造研究所えこら&NPO法人くさつ未来プロジェクト主催による「すっきりマーケットぶつぶつ交換会」を開催しました!草津市では初めての開催で25組の参加がありそれぞれの家庭で使わなくなったものを持ち寄ったり、欲しいものももらったりしました。

以下、参加者の感想です。

- 今まで沢山のを簡単に捨ててたんだなと気づいた。私にとって不要なものでも、こういう場にもちよること喜んでくれる人がいる。ものを貰うのも、「ください」って言って探すのはなかなかできないけど、その場に置いてあって手に取るだけだし貰いやすい。良い場だなと思った。
- こんなに子供たちが喜ぶなんてびっくりするくらい子どもがめっちゃ喜んで素敵
- 実質はお金を払って買ってないのに、買ったつもりになってる受益者(^^;) とってもお得な買い物をした感覚。



ある参加者のコメントで、感動したのは、

買い取り業者で売るより、喜んでもらってくれる人、もらって笑顔になるのを見るのが嬉しいから、この物々交換会に参加していると。

確かに、ただ捨てたり売ったりするより、喜んでもらってくれる人の笑顔をみるのは嬉しいですね。



# 感じて、ふれて、 ベトナム!!

7月9日(日)に、滋賀ベトナムコミュニティが野路町新宮会館で、玉川学区(野路事務所)とKIFA共催のイベントを行いました。



今日はベトナムのイベント、無事に終わりました!

170名以上の参加者で大好評でした!皆さんの素敵な笑顔、交流の場、とてもいい感じでした。

まずは、ベトナムの男女お二人が優しい歌を歌ってくれました。

次に、ベトナムコミュニティの代表、



Phoungさんからご挨拶をいただき、その後、草津市玉川まちづくり協議会会長の中野さんおよびKIFAの南会長からご挨拶をいただきました。司会はベトナムコミュニティから、女性のタオさんとKIFAの国際理解部会副部長の中嶋さんで、お二人は面白くイベントを盛り上げてくれました。

あいさつの後、ベトナムに関する映像を見ました。自然から町や人々と経済など、写真を通して様々な視点からベトナムを知ることができました。

その後、ベトナムの女の子たちが美しい踊りを見せてくれました。私たち参加者も、少し踊りを体験しました。

民族衣装の試着体験やベトナムの文化を感じられる展示会の見学などを通し、ベトナムとふれあうことができました。

次に、お待ちかねのお料理をいただきました。春巻きやピーナッツのご飯と美味しいデザートもいただきました。二つのタイプのコーヒーも味わうことができました。全部、すごく美味しかったです!

最後に、まさかの!!!まさかのプロポーズ!!!コミュニティのお二人が婚約してしまいました!(^o^)  
感動の終了でした〜。

(国際理解部会部会長 藤田 アニコー)

## ベトナムの文化の紹介イベントの感想



本当に楽しかったです。初めて自国の文化を紹介する機会があって、多くの日本人の方が興味を持ってくださり、誇りを持つことができました。

(グォクさん 滋賀医科大学の博士課程の4年生)

初めてこのようなイベントに参加してとても嬉しかったです。実は私はベトナム人ですけど、初めて「AoBaBa」という伝統的な服を着て踊りました。本当に特別な経験でした。多くの日本人の方が参加して下さりベトナムの料理を楽しんでおられました。感動の一日でした。

(トゥさん 滋賀医科大学の博士課程の3年生)

今回イベントのために準備したり練習したりする中で新しい友達がたくさんできました。日本語も勉強できるし、ベトナムの文化を紹介することができました。このような日本人とベトナム人の交流は貴重なことだと思います。



私もベトナムの人気がある歌をお聞かせする機会があって幸せでした。

(コンさん 滋賀医科大学の博士課程の1年生)

今回は3か月ぐらい前から企画しはじめました。われわれ滋賀医科大学の学生と立命館大学の学生、それに滋賀在住のベトナム人の方々とともに楽しみながら、頭をしょりました。みんながそれぞれの才能をもち寄って日本人参加者の皆さんにベトナムを紹介するプログラムを立ち上げていきました。予想以上の参加者があったイベントは大成功となりました。町内の方々や草津市国際交流協会KIFAの皆様からご援助ご協力をいただき感謝申し上げます。

(タイさん 滋賀医科大学の博士課程の3年生、  
在滋賀ベトナム学生青年協会の代表者)





## 他団体紹介

他団体紹介の第3弾です！！今回は、エコの時代に持続可能な社会を創造していく非営利団体「循環型社会創造研究所えこら」です。

# 循環型社会創造研究所えこら

「えこら」は市民、団体や企業とコラボレーションしながらエコの時代に持続可能な社会を創造していく非営利団体です。

活動の一つは資源物を集め、リサイクルに繋げた収益の一部を琵琶湖の環境保全に寄付することです。ごみはごみではない。価値がさらに活かせる資源物です。

他の活動は、環境教育、環境意識を高める様々なエコなイベントの開催、日本の昔から残っている暮らしや知恵、価値観を学べるエコツアーの企画と実施です。

### 具体的に

- ・リユースワークショップ
- ・エコクッキング
- ・エコサークル（大人向け）
- ・ESD エクスカーション
- ・国際 & 環境を学べる エコ・イン活動



### ミッション

私たちはこれからの社会づくりに効果的に貢献したい。

地球の資源を大事にし、その価値をさらに活かしたい。

次の世代の皆さんとともに日本文化を再発見し、昔の知恵や価値観を活かして持続可能な社会を実現したい。

### 循環。つながり。エコ&こころ。

これをクリエート（想像・創造）とキープすることは私たちのミッションです。



### えこらって？

「えこら」の正式な名前は「循環型社会創造研究所えこら」です。愛称は「えこら :ekora」となっています。この名称をつくるために英語とハンガリー語を混ぜました。

「ekora」 = 「エコの時代」（ハンガリー語）

「kör」 = 「丸」、「循環」（ハンガリー語）

コラ = コラボレーション

ぜひ一緒に幸せいっぱい持続可能な社会を実現しましょう～。

（代表 藤田 アニコー）



## 循環型社会創造研究所えこら

お問合せ：090-3966-8212 or [junkan.ssk@gmail.com](mailto:junkan.ssk@gmail.com)



## 案内 姉妹都市ポンティアック市よりの中学生施設団来草



長らく途絶えていた交流の再開！  
中学生大使11名、付添者11名の使節団を受入れます。

## 【スケジュール】

10月23日(月)	来日(中部国際空港) エストピアホテル着	10月29日(日)	ホストファミリーと自由行動
10月24日(火)	市長表敬訪問・草津市内観光	10月30日(月)	小学校訪問(草津・笠縫)
10月25日(水)	3中学登校(草津・松原・新堂)	10月31日(火)	3中学登校(高穂・玉川・老上)
10月26日(木)	3中学登校(草津・松原・新堂)	11月 1日(水)	3中学登校(高穂・玉川・老上)
10月27日(金)	立命館大学見学・京都視察(平等院)	11月 2日(木)	Farewell Party(ポストンプラザ草津)
10月28日(土)	ホストファミリーと自由行動		帰国

## 案内 第11回世界と出会う交流広場

草津市・栗東市・守山市の3市合同による地域最大級の  
インターナショナルイベントです。

- 日 時：平成29年11月12日(日) 11時～15時(小雨決行)
- 場 所：栗東芸術文化会館さくら・シンボルひろば
- 料 金：入場無料
- プログラム：ソウルクライ(K-POP来日公演)・世界の食べ歩き屋台村  
民族衣装ファッションショー・ベリーダンス/インド舞踊などの舞台  
大道芸・世界を巡るスタンプラリー  
民族衣装体験などの世界の遊び体験エリア・ものづくり作家大集合



## 募集 留学生と一緒にいくバスツアー(秋編)

留学生と行く甲賀方面への日帰りバスツアーを企画しています。今回は甲賀三大佛を巡り甲賀もちふる里祭りに参加します。十楽寺、大池寺などを予定していますので、みなさまの参加をお待ちしております。

- 日 時：11月19日(日)(17:00 各集合場所にて頃解散予定)
- 集合場所と時間：草津市役所東側のバス停横 9:00 / 立命館大学バス停 9:15
- 参加費：KIFA会員 2,000円 / 非会員 3,000円
- 定 員：日本人 15人、外国人 25人
- 申し込み開始：11月1日(水)

